

15日 木曜

エレミヤ

48:26 彼を酔わせよ。主に対して高ぶったからだ。モアブは、へどを吐き散らし、彼もまた物笑いとなる。

48:27 イスラエルは、あなたの物笑いではなかったのか。それとも、あなたが彼のことを語るたびごとに彼に向かって頭を振っていたのは、彼が見つけれられた盗人のひとりであったためか。

48:28 モアブの住民よ。町を見捨てて岩間に住め。穴の入口のそばに巣を作る鳩のようになれ。

48:29 私たちはモアブの高ぶりを聞いた。実に高慢だ。その高慢、その高ぶり、その誇り、その心の高ぶりを。

48:30 「わたしは、彼の高ぶりを知っている。主の御告げ。その自慢話は正しくない。その行ないも正しくない。」

48:31 それゆえ、モアブのために私は泣きわめき、モアブ全体のために私は叫ぶ。キル・ヘレスの人々のために嘆く。

48:32 シブマのぶどうの木よ。ヤゼルの涙にまさって、私はおまえのために泣く。おまえのつるは伸びて海を越えた。ヤゼルの海に達した。おまえの夏のくだものとぶどうの取り入れを、荒らす者が襲った。

48:33 「モアブの果樹園とその国から、喜びと楽しみは取り去られ、私は酒ぶねから酒を絶やした。喜びの声をあげてぶどうを踏む者もなく、ぶどう踏みの喜びの声は、もう喜びの声ではない。」

48:34 ヘシュボンが叫んだため、その声はエルアレとヤハツまで、ツォアルからホロナムやエグラテ・シェリシヤまで届いた。ニム



リムの水さえ、荒廃した地となるからだ。
48:35 「またわたしは、モアブの、主の御告げ。高き所でいけにえをささげ、その神々に香をたく者を取り除く。」

神様からのさばきを受けるモアブですが、そのさばきの理由が記されています。イスラエルを笑いのものにし、神に対して高ぶっていたのです。31節からは、モアブのための嘆きが書かれています。それはモアブの悲惨の大きさを表しています。人をあざ笑い、高慢に振舞う者は、その報いを受けることとなります。しかし、私たちはそのような人々への愛を失わないようにしましょう。その報いから来る苦しみを見て、笑い返すのではなく同情の思いを持つものでありましょう。それは人の感情からは出ません。聖霊によるものです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

